

当院リプロダクションセンターで

看護師による食事バランスチェックシートを用いた栄養説明を受けた患者さんへ (臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンターでは、不妊治療を受け、かつ看護師による食事バランスチェックシートを用いた栄養説明に参加された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

看護師によるバランスの良い食事に関する動機づけ面接プログラムの有用性：パイロット調査

【研究の背景と目的】

背景：近年の食事・栄養の摂取と妊孕能、妊娠率、母体・児の健康との関連研究で、バランスのよい食事を摂取することは、妊孕能に良好な影響を及ぼす可能性があること、妊娠合併症リスクを下げられる可能性があること、母子の健康リスクを下げられる可能性があること、児の将来の生活習慣病リスクを下げられる可能性があることがわかってきました。一方、日本の不妊症患者は妊娠に効果的な食事や栄養に関心があり、不妊外来での相談主訴としても少なくありませんが、特定の栄養素や食品への注目度が高く、バランスのよい食事への関心度が薄く、まだ普及していないところです。

バランスのよい食事を摂取するためには、朝昼晩の3食摂取できる生活時間の見直しや買い物、調理の行動を取り入れるなど行動変容や生活習慣の変化を要しますが、一般に多くの人にとって生活時間や行動を変えたり、維持したりすることは容易ではありません。

当科では患者さんの自律性を尊重するコミュニケーション方法で食事バランスの情報提供と行動変容支援を目指す動機づけ面接プログラムを試作し、診療の中で提供させていただき、その際患者さんの発言やアンケート、バランスの良い食事への取り組みを聴取、記録しました。今回、それらのデータの解析をおこない、食事バランスチェックシートを用いた看護師によるプログラムがどのような変化をもたらしたか検討させていただきます。

【対象となる方】

2025年11月4日～2025年11月26日までの間に当院リプロダクションセンターで、食事バランスチェックシートを用いた看護師による栄養説明に参加された方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

患者背景：生年月、パートナー年齢、現在の不妊治療の内容、合併症の有無

アンケート：看護師による栄養説明前、2回目の説明終了後

栄養説明中の発言内容の記録：初回説明時、2回目説明時

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日後、病院長の許可日（2025 年 12 月 6 日）から 2026 年 5 月 31 日まで実施され、12 名の患者様にご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などが付与されてどの患者さんの情報であるか識別できないよう加工・管理されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本生殖医学会、日本生殖心理学会で発表予定です。また、そのほか学術雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 小泉 智恵（病院講師）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 介入担当者:林崎優子、北村かずみ(看護師)
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号: 048-965-2028 (直通) 平日 9-16 時

以上